

創薬におけるスパコンの講演会の実施

Implementation of lecture meeting of supercomputer in drug discovery

NPO法人バイオグリッドセンター関西 理事・事務局長 志水隆一(BioGrid Center Kansai director Ryuichi Shimizu)

研究目的：創薬におけるスパコン「京」の産業利用を推進しており、利用者である製薬企業の担当者のための講演会の開催

□「翻訳後修飾研究のフロンティアとそれを支える基盤技術－創薬R&Dへの期待－」

日時：2016年4月22日(金) 13:00-17:55

場所：グランフロント大阪 北館タワーC 9階 Vislab OSAKA

(大阪市北区大深町3-1)

主催：CBI学会関西部会

共催：バイオグリッドセンター関西、都市活力研究所

主な内容

リン酸化、糖鎖付加、アセチル化、ユビキチン化(SUMO化)など多岐にわたる蛋白質の翻訳後修飾について議論しました。

自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター 加藤晃一、京都大学 大学院工学研究科 森本大智ほか



□fMRI脳機能イメージング:新しいバイオマーカーを求めて

日時：2016年11月25日(金) 13:00-17:55

場所：グランフロント大阪 北館タワーC 9階 Vislab OSAKA

主催：CBI学会関西部会

共催：バイオグリッドセンター関西、都市活力研究所

主な内容：fMRI脳機能イメージングで計測できる情報の可能性について議論しました。

□AI創薬の可能性:自然言語処理技術の現状と課題

日時：2017年2月3日(金) 13:30-17:55

場所：グランフロント大阪 北館タワーC 9階 Vislab OSAKA

主催：CBI学会関西部会

共催：バイオグリッドセンター関西、都市活力研究所

主な内容：自然言語処理技術の現状とAI創薬の可能性について議論しました。

